

第30回波崎きらっせ祭り  
ビーチサッカー大会 IN 波崎

競技規則

コートサイズ	長さ30m×幅20m
ペナルティーエリア	各コーナーから中央に向かって5mのタッチライン上に旗をおき、ゴールラインからこの旗までの全域をペナルティーエリアとするがラインは引かない。
PKポイント	ペナルティーエリアのラインとゴールの中央を結んだ点から行う。
コーナー	各コーナーには旗が置かれる。
ハーフェーライン	ハーフェーには旗が置かれる。ハーフェーラインは引かない。
ゴール	高さ2m、幅3mとする。
得点	両ゴールポストの間とクロスバーの下でボールの全体がゴールラインを超えたときとする。
使用球	ビーチサッカー用ボール(5号球)
競技者	1チームの競技者は5名、内1名はキーパーとする。
選手の交代	コート中央の選手交代ゾーンで行い、交代の回数制限はなく、同じ選手が何度でも出入りできる。その際、外にでる選手が完全にコート外にでた後でなければ、コート内に入る選手は入れない。
キーパーの交代	ボールが一度タッチライン及びゴールラインから出たときにだけ行える。その際、審判に申し出る。
審判	審判は主審と副審からなり、それぞれタッチライン付近で試合をコントロールする。
ユニフォーム	選手はチーム揃いのユニフォーム(Tシャツ、ビブス等でもよい。)及び半ズボン・ソックス・レガース、靴を必ず着用する。なお、ゴールキーパーはフィールドプレーヤーとユニフォームの色を替える。また、他の選手のケガにつながるような用具、アクセサリ等の着用は禁止とする。 * ビブスをお持ちのチームは、用意して下さい。
靴	運動靴とし、ポイントのついたスパイクは禁止とする。また、裸足も禁止とする。

キックオフ	キックオフの際、相手選手は最低 5 m 以上離れなければならない。 キックオフシュートは禁止とする。
競技時間	試合時間は前後半各 7 分とし、ハーフタイムは 2 分とする。
勝敗の決定	試合時間が終了した時点で多く得点をしていたチームの勝利とする。同点の場合は P K 合戦で勝敗を決定する。P K 合戦は 3 人とし、3 人で決まらなかった場合はサドンデスで勝敗が決定するまでおこなう。その際、PK 合戦をおこなう選手は試合終了時コート内にいた選手とする。
反則	下記の反則が犯された場合、相手チームにその地点からの直接フリーキックが与えられる。フリーキックの際、相手選手は 5 m 以上離れなければならない。キッキング、トリッピング、ショルダーチャージ、スライディング、ホールディング、プッシング、ハンドリング。 * オフサイドはなしとする。
イエローカード レッドカード	審判は以下の場合、反則を犯した選手にイエローカード及びレッドカードを提示する。 1) 上記の度重なる反則を犯した場合。 2) 遅延行為。 3) 態度又は言動で審判の判定に異議を唱えた場合。 4) 審判が重大・悪質な行為と判断した場合。 イエローカード 1 枚目は警告、2 枚目はレッドカードと同様 レッドカード その試合及び次の試合の出場停止
キックイン	タッチラインからボールが出た場合は、その地点のタッチラインの外からキックインによって試合を再開するが、キックインによって直接ゴールすることはできない。
コーナーキック	コーナーキックはコーナーポストから半径最大 1 m 以内のコートから蹴らなければならない、尚、コーナーキックからは直接ゴールすることができる。
ゴールスロー	攻撃側の選手が最後に触ったボールが、ゴールインすることなくゴールラインを完全に割った場合、またはキーパーが直接キャッチした場合はゴールキーパーはペナルティエリア内から必ずゴールスローにより試合を再開する。その際自陣のコートで競技者に触れるか、ワンバウンドしてからでなければ相手コートにボールを入れることはできない。このボールが直接相手コートに入った場合、ハーフウェーライン上から相手ボールの間接フリーキックとする。
バックパス	キーパーはバックパスされたボールを手で扱うことは出来ないが、手以外であれば扱うことが出来る。ペナルティエリア内でゴールキーパーがバックパスされたボール(腰から上は除く。)を手で触った場合には、その地点より相手チームの間接フリーキックとする。